

照明器具と光膜天井について

光膜天井は、使用する照明器具によりマバラになったり下地金物の影が発生する場合があります。
特に分離発注の場合は、その責任の所在が不明確になり、クレームになることも多く発生しています。
株式会社トニーは、より良い製品を提供させていただくために一括受注により、トータルでの責任施工を目指したいと思います。

■ 分離発注による悪い事例

①照明器具の高さ不足
使用する照明器具によって膜材料との高さは異なります。



(IDシリーズを高さ300mmで使用して
ランプイメージがマバラになった例)

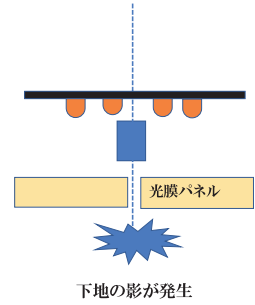
IDシリーズ・・・450mm以上
蛍光灯LED・・・350mm以上
スリムタイプ・・・250mm以上

ビームタイプ・・・150mm程度
モジュールタイプ・・・130mm程度
特注モジュール・・・60mm程度

②下地金物の影(照明器具の位置)
照明のつける位置を間違えると下地の金物の影が出ます。



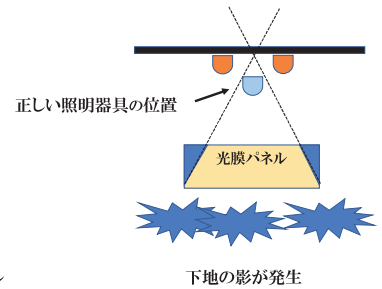
(モジュールタイプの位置が下地に近すぎて
はっきりと影が見えます。)



③下地金物の影(パネル巾と照明器具の高さ)

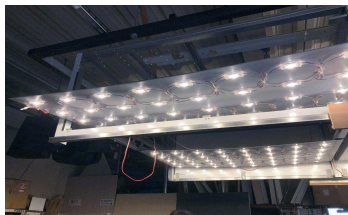


(巾の狭い光膜パネルの場合は、照明高さを低くし
入射角度内に照明器具を1本にする。)



■ 実験検証

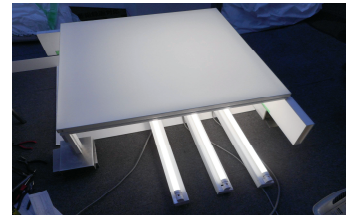
各物件ごとに トニーでは必ず照明実験をしています。



モジュールの位置実験



大型円形照明光源の実験



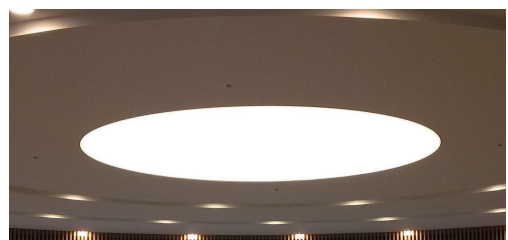
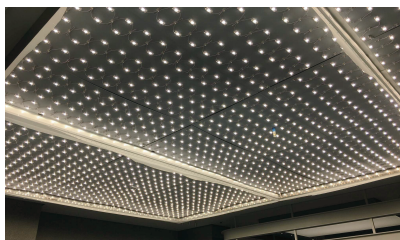
蛍光灯タイプ照明実験

■ 一括受注によって成功した事例

反射板を入れることによってパネルの影が発生することなくまた、光を反射させよりむらなく一層綺麗な面発光が可能となる



モジュールの位置実験をすることによって最適な位置関係を導き出し、むらのない面発光が可能となる



株式会社トニーは、「光」をテーマに創造的な製品を開発しています。

株式会社トニー

本社 〒242-0001 神奈川県大和市下鶴間2767-34 TEL046-271-3222 FAX046-271-3223 E-mail:tony@tony-net.com
設計オフィス 〒242-0001 神奈川県大和市下鶴間2776-1 大和ハイデンス2号棟B112号室 TEL046-204-8794 FAX046-204-8795

詳しくはトニーのホームページをご覧ください。

<http://www.tony-net.com>

Find us on Facebook

